

永沢寺そば打ち愛好会・設立20周年記念祝賀会 報告



出席者全員で記念撮影

永沢寺そば打ち愛好会(兵庫県、会長:藤井 正、会員数:61名)が、設立されて20年を迎えました。これを記念して「記念祝賀会」が開かれ、お招きを受けて出席して来ましたのでその概要などについてご報告します。

(報告者:広報渉外部長 谷端)

1. 日時 : 2月17日(日) 午後1時30分～
2. 会場 : 東天紅 センタープラザ店
(兵庫県神戸市中央区三宮町)
3. 出席者: 33名(会員31名、来賓2名)

4. そば愛好会の結成由来 永沢寺そば打ち愛好会が結成されたのは平成10年で、全麵協会員の中でも最古参の中に入ります。歴史は昭和50年に、地元の方々が土地を出し合って「花しょうぶ園」を開園したことに始まります。兵庫県三田市永沢寺地域は山奥に位置するため、水田耕作から花しょうぶの観光事業へと大胆な地域振興策を行ないました。広さ3.3ha、650種300万本の花しょうぶ園は西日本最大規模で、花しょうぶ園の最盛期には1日に1万人もの観光客が来場するまでに注目を集めました。平成元年には、農業による地域振興に顕著な功績を挙げたとして「朝日農業賞」を受賞するなど、見事に観光事業での振興策は成功しました。



永沢寺花しょうぶ園

花しょうぶ園は見頃が6月上旬～7月上旬の1ヶ月間のため、年間を通した観光事業とすべく着目したのが「そば」でした。平成2年に花しょうぶ園の入口に「永沢寺そば道場」を建設、近くの曹洞宗・永澤寺にちなんで名付けた「雲水そば」を名物にしようと取り組みが始まりました。平成9年から「さんだ永沢寺そばまつり」を開催し、翌年には全麵協に「永沢寺地域振興協議会」として加盟しました。また、永澤寺を通じてつながりのあった、福井県内のそば打ち愛好家の協力を得て、そばまつりではそば打ちの実演と販売が行われました。これらが契機となって、「永沢寺そば道場」入門者を中心に「永沢寺そば打ち愛好会」が平成10年に結成されたのです。

5. 祝賀会の概要・感想

祝賀会場の入口には、以前に撮影されたものから最近のものまで沢山の写真が掲示されていました。参加者は一つ一つの写真を見ながら談笑し、思い出話に花を咲かせていました。祝賀会は藤井会長のあいさつで、定刻に始まりました。次に私と和田良三 永沢寺そば道場主が2人であいさつに立って、永沢寺地域がそばに取り組んだきっかけや「そば道場」建設のいきさつ、「永沢寺そばまつり」の思い出などを掛け合いでお話しました。



その後、歴代会長の発声で乾杯が行われて、宴会が開始されました。懇談が進む中で、歴代会長による思い出話や藤井会長の指名で四段位、五段位に認定された方々次々にマイクの前に立ちました。その中で、認定会では会員からの応援や励ましが何よりの力になったと感謝の言葉を述べる一幕があり、心温かくほほえましい記念祝賀会になりました。



祝賀会 全景



藤井 正 会長

永沢寺そば打ち愛好会 関係の略歴

年 月	出 来 事	備 考
昭和50年	「花しょうぶ園」開園(3.3ha、650種300万本)	西日本最大規模
昭和61年 秋	永澤寺の庫裡でそば打ち披露と紹介・試食会	福井県とのつながりで
昭和62年～	「花しょうぶ祭り」でそば打ち実演・試食の提供	世界そば博(平成4年)
平成元年	花しょうぶ園が地域振興に顕著な業績を挙げたとして「朝日農業賞」受賞	
平成2年	花しょうぶ園入口に「永沢寺そば道場」建設	全麵協設立(平成5年)
平成8年10月	第1回 関西そば打ち名人大会 開催	中山重成先生が審査
平成9年10月	第1回 さんだ永沢寺そばまつり 開催	福井県からも応援出店
平成10年	「永沢寺地域振興協議会」が全麵協に加入	西日本からの初加入
平成10年	永沢寺そば打ち愛好会設立 (岩田初代会長)	西日本地域の草分け
平成10年～	「素人そば打ち段位認定会(初・二段位)」開催	西日本地域で初開催
平成16年	木村敏明氏が全麵協役員に就任(~21年)	総務広報部・副部会長
平成18・19年	岡田 勲氏が全麵協 副会長に就任	全麵協設立10周年
平成20年	永沢寺愛好会を中心にして「西日本支部」設立	全国4支部制が始動
平成26年1月	永沢寺そば打ち愛好会・設立15周年記念式典	
平成26年～	嘉納廉剛さん「全国認定会専門チーム」に加入	西日本と本部パイプ役